

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

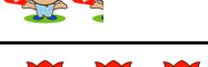
1. 建物概要

建物名称	コマツ新潟オフィス	
建設地	西区 山田字堤付2310番43.44.45	
用途地域	準工業地域、法第22	
建物用途	事務所、工場	
竣工年	2017年10月 予定	
敷地面積	12,092.01 m ²	
建築面積	2,263.12 m ²	
延床面積	3,501.13 m ²	
階数	地上3F	
構造	S造	
評価の段階 評価の実施日	実施設計段階評価 2017年2月2日	

2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{50.2}{36.5} = 1.3$
--	----	--

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.8		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.0		まちなみ・景観への配慮	5.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

- 長寿命化への取組み: ユニバーサルデザインに配慮(段差解消、多機能トイレ等)し、維持管理に配慮した内装を選定した。
- 地震への取組み: 建築基準法上の耐震性を確保し、設備関係も信頼性のおける計画とした。
- 大雨への取組み: 下水道処理区域外である当敷地で、雨水集水能力を確実に確保し、油分離し排出する計画とした。
- 自然エネルギーへの取組み: 断熱性能の高い外装を用い、2面ハイサイドライト及び自然通風を得られる計画とした。
- 資源循環の取組み: 節水に配慮し、内装材へのリサイクル材を積極的に活用する計画としている。
- 水と緑を活かす取組み: 大部分の敷地内は建設機械が並ぶ為のスペースだが、来客エリア、隣地際は植栽緑化に努めた。
- 新潟のまちなみへの取組み: 新潟の主要道路からの連続的景観に配慮した全体配置、外装計画としている。

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コマツ新潟オフィス	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市西区	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条地域	平均居住人員	67人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,500時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2017年2月2日
敷地面積	12,092 m ²	作成者	南雲 裕貴
建築面積	2,263 m ²	確認日	2017年2月2日
延床面積	3,501 m ²	確認者	南雲 裕貴



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 84%
③上記+②以外の 84%
④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	コマツ建機販売とコマツレンタルが統合し、新潟の拠点にふさわしい環境配慮された建物とすると共に環境に良い仕事の実現できるよう計画している。特に交通の要所である計画地において、多方向からの視点場からの景観を検討した。まちなみに馴染みながら、アピールとなるように意図している。	
その他	当敷地では環境基準を超える自然由来のヒ素が含まれていることから、土壌汚染対策法において、残土を敷地外に出すことなく建築工事を行う。外構雨水は、汚染土に浸透した水分が敷地外に出ないように基本的に浸透させない計画	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
新潟の気候に適應するため断熱性能を高め、省エネや快適な職場環境を創出できるように配慮した。	ユニバーサルデザインに配慮し、来客者への配慮だけでなく、車いす者でも働ける環境をハード面を整備している。	新潟における交通の要所に近接して建てられることから、多方向からの視点場からの連続的景観を念頭に、レイアウト、ボリュームを計画し、アピールしつつも、まちなみから突出しないように配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
ハイサイドライトによる自然採光、上下窓による温度差換気、執務室、工場内の風の通り抜けなど、パッシブに自然エネルギーを活用することに配慮した。	節水器具を用いることで水資源の保護し、内装にリサイクル再生材を用いることで資源の有効活用をしている。	日照障害防止や、廃棄物抑制、騒音振動悪臭防止に配慮し、周辺環境保全に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される